



1. 結果の無い場合は
→輸血前感染症検体を提出してもらう

2. 結果の有る場合は
→前回からの期間を確認する

感染症検査項目 & セット

- ・輸血前、輸血後ともにガイドラインのまゝ使用
- ・セットは、術前検査や肝炎の感染症検査と重複を避ける

輸血前検査セット	HBsAg	HBsAb	HBCAb	HCVAg	HCVAb	HIVAb
①輸血前検査	●	●	●	●	●	●
②手術・輸血前検査		●	●	●	●	●
③B型・輸血前検査				●	●	●
④C型・輸血前検査	●	●				●

輸血後検査セット	HBV-DNA	HCVAg	HIVAb
①輸血後感染症	●		
②B型・輸血前検査		●	●
③C型・輸血前検査	●	●	

到着確認をしないための対策

★3456 01234567 12/3
6月7 日 木 太郎
000000 000001
血清 輸血感染症
★★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆13:07

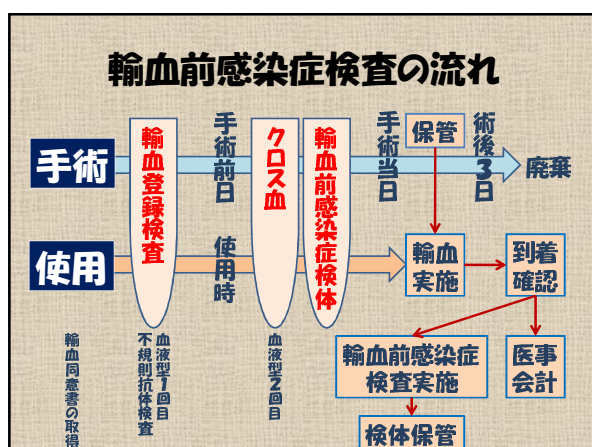
① 専用の項目コードを設定
必ず、アラートが表示される

輸血検体確認

⚠ 輸血感染症検体です。到着処理を実行しますか？

はい いいえ

②



輸血前感染症検査の取り組み

手術の場合、術前に検体を保管する事で
採血漏れを無くした

すぐに使用する場合、感染症検査の確認
が、できる画面を構築した

感染症の検体は、クロス血と同時に採取
する事で、採血者に分かり易くした

輸血実施後の検体到着確認は、輸血担当
技師が行う事で、検査漏れを無くした

検体の保管管理も輸血システムで

- ・ID入力
- ・初回輸血日を選択
- ・登録番号の取得12桁
(西暦・月・日・No)
- ・保管場所指定
- ・検体登録
- ・検体ラベル印刷

01234567
ニ七七 八ナコ
日赤 花子

000000 000001

保管検体 : 201501310001
保管場所 : 輸血 場所一 3890

- ・(2枚: 検体保管用、輸血後感染症検査受診のご案内)
- ・輸血後感染症検査を実施する時期の起点となる

輸血後感染症検査受診のご案内

○ 輸血を行う前に輸血前検査(※)にてHIV抗体陽性反応の結果を確認する必要があります。この結果が陽性の場合、輸血後3ヶ月を目処に輸血によるHIV感染の検査を受ける必要があります。

○ 輸血後の感染症検査(※)にて陽性反応が認められた場合は、輸血した血液との関係性の確認が必要となります。そのために最寄りの輸血センターへ連絡する必要があります。

○ 輸血された血液との関係性が明らかになった場合には、生物由来製品感染検査を実施する必要があります。

○ 輸血後の検査が陽性になった場合は最寄りの輸血センターへ連絡する必要があります。その場合には最寄りの輸血センターへ連絡していただく必要があります。

○ 検査を受ける場合は診療科で、この用紙を提出してください。

○ 検査の結果は、検査結果の通知となります。

あなたは 平成25年11月02日 に 血液内科 において輸血をおこなわれました。

輸血後感染症検査は 平成25年11月07日 以降です。

あなたに必要な輸血後感染症の検査項目は次のとおりです。

● HIV抗体検査 ● HIVコア抗体 ● HIV抗原

※※ 施設以外の医療機関で検査を受ける場合 ※※
最寄りの輸血センターへ連絡する必要があります。この用紙を最寄りの施設にお持ちください。

ご不明な点は、広島赤十字・広島病院 血液内科 までご連絡下さい。
電話: 082-240-3011(内線)

輸血後感染症検査の勧め
輸血前検体の保管
救済制度について
週及調査について
検査時の提出について
検査の費用について

輸血実施日と診療科
検査実施予定日
検査項目

他施設での利用方法
連絡先

保管検体検索画面

検索範囲
受付日開始 年 月 日 ~ 受付日終了 年 月 日 検索 閉じる

患者ID 保管検体 印刷

選択 保管検体番号 輸血予定日 患者ID 患者名 カナ氏名 保管場所 場所NO

一括選択 一括解除 印刷

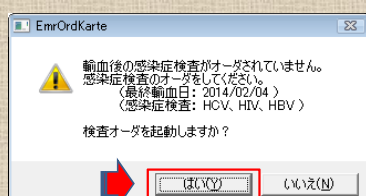
診療科別 輸血前感染症検査 実施患者リスト
輸血後感染症の検査項目は(●)です、3ヶ月後に検査して下さい。

診療科 呼吸器内科 平成26年11月分

輸血実施日	主治医	患者ID	患者名	検査項目
平成26年11月02日				● HIV抗体検査 ● HIVコア抗体 ● HIV抗原
平成26年11月07日				● HIV抗体検査 ● HIVコア抗体 ● HIV抗原
平成26年11月11日				○ HIV抗体検査 ● HIVコア抗体 ● HIV抗原
平成26年11月07日				○ HIV抗体検査 ● HIVコア抗体 ● HIV抗原
平成26年11月20日				● HIV抗体検査 ● HIVコア抗体 ● HIV抗原

輸血後検査を促すお知らせ

平成26年5月まで	平成26年6月から
電子カルテに付箋	輸血後感染症アラート通知機能 チェック期間: 63日~150日



アラート通知機能設定による不具合

輸血後の検査項目が3項目必須となっている

B型肝炎でHBVを測定しない場合

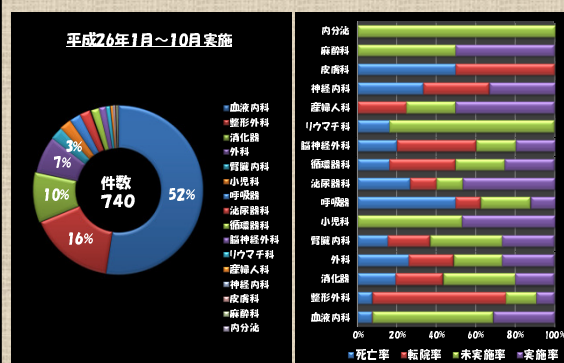
C型肝炎でHVC-Agを測定しない場合

診療科毎に期間が設定されている

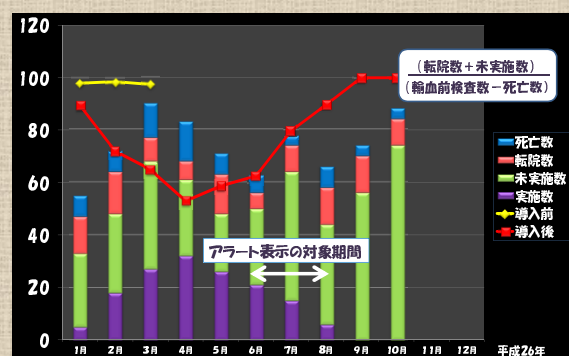
2つの診療科から輸血後の検体が提出される

3か月経っていないのに輸血後の検体が提出される

当院の現状



アラート通知機能導入後の効果



当院の懸案事項

- 血液内科の場合、治療が始まると輸血が継続して行われるために、輸血後の検査をするタイミングが分からないので、検査は医師の判断に委ねている
- 整形外科の場合、未実施の81%が転院された患者さんが占めていて、多くの患者さんは来院されないという現状

